

＜英語語法マスター②＞ 副詞の語法①

① 肯定・否定・疑問文のいずれに用いるかで注意が必要な副詞

① already の用法

- ・肯定文で「 」という完了の意味を表す。

(例) She has already finished the work. 「彼女はもう仕事を終わりました。」

- ・否定文・疑問文で「 」という意外・驚きの意味を表す。

(例) He hasn't come already, has he? 「まさかもう彼が来たのではないでしょうね」
→ 否定文の場合、()がつくことも多い。

② yet の用法 ← yet の位置は ()

- ・ 否定文で「」の意味を表す。

(例) She is not home yet. 「彼女はまだ帰宅していない」

= She is not **yet** home. ← 文語では () に置かれる。

- ・ 疑問文で「」の意味を表す。

③ stillの用法

- ・肯定文・疑問文で「**→**」という**継続**の意味を表す。

- ・ 否定文で「still」といふ否定の状態の継続を強調する意味を表す。stillの位置は()。

(例) You **still** haven't answered my question. 「君は**まだ**私の質問に答えていない」

- ・ () の still は接続詞的に用いられ、「　　」の意味を表す。

(例) We were poor. Still, we were happy. 私たちは貧しかった。それでも幸せだった。

④ ever・onceの用法

- ・ ever が「
肯定文では「
」の意味を表すのは 否定・疑問 および 条件文 の場合で、
」の意味は once で表す。

(例) Have you **ever** been to London? 「ロンドンに(かつて)行ったことがありますか」

I have seen it once. 「私は1度それを見たことがある。」

→ once が動詞の前、文頭にすると「私はかつてそれを見たことがある」となる

I once saw it.

⑤ too・eitherの用法

- ・ too 「は肯定文に用い、否定文に続いて」
 には either を用いる。 」という場合

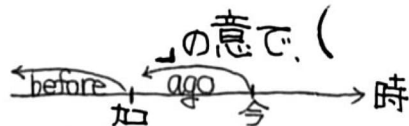
② 用いる文の時制に注意が必要な副詞

① agoの用法: 「～前に」

- agoは「過去」の意で、期間を表す語句を伴い、()とともに用いられる。
The house was built two years ago. 「その家は2年前に建てられた」

② beforeの用法: 「前に」

- beforeは「過去」の意で、()とともに用いられることが多い。



- (例) I told her that I had seen him two weeks before.
「2週間前に彼に会ったと私は彼女に言った」

- 「過去」の意で () 用いる用法もあり、この場合は ()・() () などと用いる。← agoは単独で用いない!

- (例) I have seen him somewhere before. 「以前どこかで彼に会ったことがある」

③ sinceの用法: 「それ以来」

- sinceは「過去」の意で () で、もしくは ever sinceの形をとり、() とともに用いられる。

- (例) We haven't seen her since. 「それ以来彼女には会っていない」

④ 「最近」の使い分け

- () [= ()] → () とともに用いる
- ()・() → ()・() とともに用いる

- ※ lately は通例 ()、recently は「最近ずっと」の意では ()、
「この間」の意では () とともに用いられる。

- (例) Many people nowadays travel to Japan. 「このごろ日本へ旅行する人が多い」
They got married only recently. 「彼らはついこの間結婚したばかりだ」

⑤ 「今」系の使い分け

- now 「今」は () に、just 「今しがた」は () と () 形とともに用いるが、just now 「たった今」は () とともに用いる!

- (例) I have just received his letter. 「ちょうど彼の手紙を受け取ったばかり」
She left the office just now. 「彼女はたった今会社を出たところだ」

- ⑥ just now は状態動詞の () と用いて「現在」の意を表す。

<英語語法マスター②> 副詞の語法②

① 後ろの語順に注意すべき副詞

☆ ()・()・()・()の後ろは()

(例) ○ It is too good a story to be true. 「それは本当にしては話があますぎる」
 X It is a too good story to be true.

㊦ "so + 形容詞"の次の名詞が**複数**のときは()を用いる!

○ I have never seen such good men. 「私はこんな良い人たちを見たことがない」
 X I have never seen so good men.

so・as・how・tooの後ろに続く語

so	} 形 + a/an + 名	() / ()
as		()
how		()!
too		()

② 準否定の副詞

① () [] + V: 「
 ← () を表す!

(例) It was so dark that we could hardly see.
 「暗かったので、ほとんど見えなかった」

② () [] + V: 「
 = () ← () を表す!

(例) I rarely go to the movies. 「私はめったに映画に行かない」

※ 4つの準否定語は (/) などと同時に使えない!

強さの順番

few + 複数名詞 ㊦ < () < no + 名 [not ~ any 名]
 little + 単数名詞 ㊧ [not a 名]
 「ほとんど～ない」 「全く～ない」

() ← almost は否定の意味はない!

③ almostの用法

almostの後に続く頻出語

① (): 「 」

(例) Almost all (of) the students like English. 「学生のほとんどは」
 = () like English. ← やや少ない人数 英語が好きな人
 = () like English.

② (): 「 」

(例) Almost everybody was invited. 「ほとんど全員が招待された」

③ (): 「 」

(例) There is almost no difference. 「ほとんど違いはない」
 = There is () () difference.

④ (): 「 」

(例) I almost always play baseball after school.
 「僕は放課後にほとんどいつも野球をする」

⑤ () = (): 「 」

← almostの方が強い

(例) I almost missed my train. 「危うく列車に乗り遅れるところだった」

⑥ (): 「 」

(例) Tom can speak French almost as well as me.
 「トムは私とほぼ同じくらいフランス語を話せる」

※ almostは副詞なので、()は×!!

④ 名詞とまぎらわしい副詞

go 「行く」
 come 「来る」
 get 「到着する」など

+

① () 「外国に」 / ② () 「町に」
 ③ () 「下の階に」 / ④ () 「家に」
 ⑤ () 「海外へ」 / ⑥ () 「上の階へ」

→ これらは副詞なので前置詞のtoなどは不要!

⑤ 1. go to his homeのように、単独ではなく () や () が付くと
 homeは名詞となり、toが必要となる!

2. 場所・時の副詞は名詞の後ろに置かれることがある。 on the way home

<英語語法マスター②②> 副詞の語法③

1 "ly"の有無で意味が変わる副詞

"ly"無し	"ly"有り
① () 「順調に」「偉大な」	① () 「非常に」「大いに」
② () 「一生懸命に」「難しい」	② () 「ほとんど～ない」
③ () 「(物理的に)高く」 → () を修飾	③ () 「(比喩的に)高く」「非常に」 → () ・ () を修飾
④ () 「ちょうど」	④ () 「公正に」
⑤ () 「遅く、遅い」	⑤ () 「最近」
⑥ () 「最も」「たいていの」	⑥ () 「たいてい」「大部分は」
⑦ () 「近くで、～の近くに」	⑦ () 「ほとんど」「危うく(～する)」
⑧ () 「かなり」(形の前で)	⑧ () 「きれいに」
⑨ () 「きっかり」	⑨ () 「鋭く」

(例) Birds are flying high in the sky. 「鳥が空高く飛んでいる」
 She is highly respected. 「彼女はとても尊敬されている」

2 副詞 otherwise の3つの用法

① 「 」 ← () でよく用いられる I left home earlier; otherwise I would have missed the train. 「私は早めに家を出た。そうでなかったらその電車に乗り遅れていただろう」
② 「 」 You can arrive much earlier by taxi than otherwise. 「タクシーで行けば他の方法よりもずっと早く着きます」
③ 「 」 ※ 形容詞用法 「 」 ← () で使われる Your essay is a little long, but otherwise it is perfect. 「君のエッセイは少し長いが、それ以外は申し分ない」

3 副詞の much の注意すべき用法

① (): 「 」 ← 語順に注意!

(O) much too expensive (X) too much expensive
「あまりにも値段が高すぎる」

※ 「too much money」の much は () なので O

② (): 「
The results are much the same. 「結果はほぼ同じだ」

③ ()・(): 「
It is much better than the others. 「それは他のものよりずっとよい」
It is much the best way. 「それはずばぬけて一番良い方法だ」

④ (): 「
Much to my joy, I have passed the examination.
「非常にうれしいことには、私は試験に合格した」

★ much + 普通の (形・副) は X → () + 普通の (形・副) は O

4 間違えやすい first 系

① (): 「
At first, I was nervous, but I became relaxed later.
「最初は緊張したが、後に落ち着いた」

② (): 「
I ate Japanese food for the first time. 「初めて日本料理を食べた」

③ (): 「
= () / ()
Firstly, I will answer your questions. 「まず初めに、あなたの質問に答えます」

<英語語法マスター②③> 副詞の語法④

① 文と文の意味をつなぐ副詞(句)

- ① 逆接・対立: 「しかし」
- ↖ 文頭は× → () で用いる!
- () 「しかしながら」 / () 「しかしながら」 ← although は ㊦ のみ
 - () / () 「それにもかかわらず」 ← () も
 - () / () 「それでもやはり」
 - () 「それどころか」 ※ to the contrary
- ㊦ () 「一方」 / () 「

② 追加: 「さらに」

- () 「その上、さらに」 ← () も!
- = () / () / ()
- () / () / () 「

③ 説明・例示: 「すなわち」「例えば」

- () 「言い換えると」 / () 「つまり」
- () 「すなわち」 / () 「同様に」
- () / () 「例えば」

④ 因果関係: 「それゆえに」

- () / () / () 「それゆえに」
- () / () 「結果として」

⑤ 選択: 「さもないと」「その代わりに」

- () 「さもないと」 / () 「その代わりに、それよりも」

⑥ 結論: 「要するに」

- () / () / () など

上記の語(句)は 副詞(句) なので 文と文をつなぐわけではない!

(例) SV... but SV'~. / Although SV'~, SV... / SV... although SV'~.

↖ カンマがなければ But と同じ!
However (,) SV... / S, however, V... / SV... (,) however ↗ 違いに注意!

→ 訳は全部「

」となり、どれも同じ!

② 文全体を修飾する副詞

① (): 「残念ながら / 不運にも」

Unfortunately, he refused to come. 「残念ながら、彼は来るのを拒んだ」
= It is unfortunate that he refused to come.

② () 「伝えられるところによると」

Reportedly, he is not dead. 「報じられているところでは彼はまだ生きている」

③ () 「おそらく」

Supposedly, he actually died of a cancer. 「おそらく彼は実際は
ガンで亡くなっただろう」

③ その他の注意すべき副詞

① (): 「 」 ← 第22講参照

at six o'clock sharp = just at six o'clock 「きっかり6時に」

② (): 「 」 = ()

students and adults alike = both students and adults 「学生と大人両方」

③ (): 「 」 ← V = () 系

She badly wanted to be chosen for the team.

「彼女はどうしてもそのチームに選ばれたかった」

④ () + a (形) (名): 「 」 quite a kind boy 「かなり親切な少年」

⑤ () + 時・場所の副詞句・前置詞句: 「 」

right in front of the hotel 「ホテルのちょうど前に」

⑥ () asleep (形): 「 」 ※ sound sleep (名)
「ぐっすりとした眠り」

⑦ (): 「 」 ← () 「 」

He little knows the problem. 「彼はその問題に全く気付いていない」

I slept very little last night. 「昨夜はほとんど眠れなかった」